

令和3年度立川市協働のまちづくり推進事業補助金事業報告会 和田清美審査委員長 講評

各団体の皆様、ご報告およびご報告のための資料、前もっての報告書を作成し
てくださり本当にありがとうございました。4団体ともに、本当に充実した内容
のご報告でした。個々の団体様への講評は各々の質疑応答での質問にて替えさ
せていただき、全体の講評を私からさせていただきたいと思います。

本事業は、「協働事業」と「アイデア提案事業」と種類が分かれており、本
日は「協働事業」1件、「アイデア提案事業」3件のご報告をいただきました。
1年の活動を団体様なりに客観的に評価していただきました自己評価を含め、
皆様からご提出いただいた報告書は審査委員が事前に見ておりますが、本日
のご報告を拝聴し、「協働事業」については団体同士、「アイデア提案事業」につ
いては団体と様々な行政のセクション、様々な展開や広がりがみられるとい
うことがよくわかりました。

コロナ禍ということで、令和2年度は社会全体が混乱していました。令和3年
度に入り、緊急事態宣言下でありつつも「コロナ禍における市民活動」というも
のの在り方を模索され、これまで対面で行っていた活動をオンラインに替えたり
、積極的にSNSやLINEを使う等、ICTを活用した活動を展開されたことがわ
かりました。しかし、模索中での課題の発見や、あらためて対面での活動の
大事さについて感じたところです。

皆様に共通しているのが、団体あるいは市役所のセクションとの協働に対し
大変積極的な運用を生み出していて、全体からすれば小さな活動かもしれませんが、
それぞれの点がつながっていく可能性を感じました。

私の専門は市民活動、コミュニティ活動ですが、地道な地域活動を続けること
が大事です。昨年度の活動で得た新たな知見の上に立って、今年度の活動につな
げていただくことを期待して講評に替えたいと思います、ありがとうございました。